

会議結果報告書

1	会議名	戸別収集実験事業に関する説明会（小出地区）
2	日時	令和7年1月25日（土）14:00～15:00
3	場所	小出地区コミュニティセンター
4	出席者	（資源循環課）森岡課長補佐、八幡主事 （環境事業センター）富田所長、松村技能労務主任 （小出地区）参加人数：39人
5	内容	<p>資料に基づき、戸別収集実験事業に関する説明会を実施した。主な質問と意見は次のとおりであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 戸別収集の実験ということで、1年間やってみて、戸別収集をどう進めていくか検討をしていくと思うが、1年間やって元に戻る可能性があるか。ポリバケツ等をホームセンターに見に行ったら、それなりの値段がしていて、1年間だけのために用意するのが勿体無いと感じた。やるなら複数年やってほしいが、この先をどうするか教えていただきたい。 → 戸別収集実験事業をやってみて、戸別収集を望まない声が多くなった場合やひどく収集効率が悪いなどの検証結果が出た場合には、1年間で戸別収集を終了とすることも考えている。 ● 風対策をするようにと記載があったが、台風がきた際には、各自で対策をしてごみ出しをしなければならないか。また、別日に収集をしていただけるか。 → 台風の状況にもよると思われるが、台風が来ている場合でもごみ収集を実施することを考え、準備を進めている。そのため、雨や風の対策を各自で行なっていただくほか、次の収集日にお出しいただくなどの判断を各自でしていただく必要がある。収集の実施の可否などについては、様々な広報媒体を活用し、周知していく。 ● 他の県や市で、戸別収集をやってみて、中止となった事例はあるか。 → 戸別収集は、全国を見ても1割から2割ほどの自治体でしかやっていない施策である。県内の自治体を見ると、鎌倉市は一度実施を見送っているが、その他の自治体では社会実験をやって良好な結果を得て継続して戸別収集を実施している。 ● 裏表紙に「パッカー車55台、軽自動車6台必要である」と書いてあるが、現在は何台で収集しているか。 → 現在、燃やせるごみの収集では、パッカー車30台で行なっている。なお、軽自動車6台は、細い道などを収集するのに必要な台数である。 ● 追加で必要となるパッカー車25台は、購入するか。 → 市の直営で実施する場合は、購入する必要があるが、その他に必要となる台数分を民間事業者に委託する方法がある。市内全域で戸別収集を実施した場合にこれだけの台数が必要であるという試算である。

- 市内全域で実施した場合に、相当な費用がかかるということか。
→ そのとおりである。
- 個人的には、戸別収集は必要ないと考えている。以前、夏の時期に親戚がいる海岸の地域に行った時に、燃やせないごみの集積場所に蠅が飛んでおり、臭いもした。このような地域では、戸別収集を実施した方が良いと考えるが、芹沢地区のような場所では、住宅間の距離もあるため、戸別収集を実施する必要があると考える。戸別収集に予算をかけるのではなく、道路を作っていただきたい。
→ ご意見として賜る。
- 藤沢市と平塚市は、全市一様に戸別収集か。
→ 藤沢市では、多くの品目を戸別収集しているが、一部の品目をステーション収集している。平塚市は、燃やせるごみを対象に一部の地域から戸別収集をはじめ、対象エリアを拡大している。なお、その他の品目はステーション収集している。
- ガソリン代が上がっており、低速度で走行する必要があるため、燃料費などの収集車両にかかる費用が多くかかると見込まれる。
- 北九州市では、夜間に戸別収集をやっているというのをテレビで見たことがある。また、海外にも目を向け、道が狭いヨーロッパのごみ収集について調べたことがあるか。
→ ドイツは、整然とされた街並みであり道が狭いという印象はないが、ごみは戸別収集、資源物はステーション収集をしていた。ドイツの事例しか存じ上げていない。
- 実験を実施してみて、費用がどのくらいかかるのかなど計算をして、検討していくということか。
→ そのとおりである。
- 以前、芹沢地区で同じような戸別収集の社会実験をやったと聞いたことがあるが、本当か。
→ そのような話は聞いたことがない。
- 芹沢地区では、外国人の方が営まれている事業所がいくつかある。このような事業者にも市から周知は行なっているか。
→ 「事業系一般廃棄物の収集運搬及び処分に関する申出書」や「戸別収集実験事業ガイドブック」を送付し、周知を行なっている。
- 戸別収集実験事業の対象品目は「燃やせるごみ」のみで、「燃やせないごみや資源物」の出し方等は変わらないか。
→ そのとおりである。来年度よりスプレー缶の分別収集を開始するため、分別品目が1つ追加となる。

- 太さ 1cm 以上の枝が 2,3 本あった時に、予約制の収集を活用できるとのことだが、もっと効率的な収集を検討していただきたい。

→ ご意見として賜る。

- 戸別収集を実施することで市にとってもメリットがあると考える。説明の中では、市民にとってのメリットばかりが説明されていたが、市にとってのメリットも説明していただきたい。市の取り組みに協力するのだから、市にとってのメリットがあるのであれば、ごみ有料化の見直しも行なっていただきたい。

→ 市にとってのメリットはごみの減量化であり、デメリットはごみの収集効率の低下やごみの収集運搬に要する費用の増大があげられる。また、ごみ有料化は、ごみ処理施設の整備や焼却灰の処理に対応していくために実施している施策であるため、戸別収集の実施によりごみ有料化制度の内容を見直す予定はない。

以上